

社会資本総合整備計画 事後評価シート

あまくさし さきつちく ぎよそんけいかん ほぞん
天草市(崎津地区)における漁村景観の保存と
みりょく まち けいせい
魅力ある街なみの形成

くまもとけんあまくさし
熊本県天草市

平成28年3月

社会資本総合整備計画（地域住宅支援）

平成 28年3月 日

計画の名称	1 天草市（崎津地区）における漁村景観の保存と魅力ある街なみの形成			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	天草市	
計画の目標				

『崎津景観形成地域が有する良好な漁村景観の保存、育成、創造を図ると共に地域の住環境の整備改善等を行い魅力ある街なみの形成を推進する。』

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 崎津景観形成地域内における電線の地中化率 崎津景観形成地域内における住宅の補修（改修）率 			
----------------	---	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
崎津景観形成地域内の電柱の現況、その後の整備状況をもとに算出する (電線の地中化率) = (地中化により撤去された電柱) / (地域内の全電柱) (%)	0%	20%	50%	※中間目標は任意
崎津景観形成地域内の現在の住宅等の状況、その後の住宅等の補修（改修）状況をもとに算出する。 (崎津景観形成地域内の住宅補修（改修）率) = (補修（改修）等が行われた住宅) / (地域内の全住宅) (%)	0%	3%	7%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	300百万円	A	300百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-------	---------------	--------	---	--------	---	------	---	------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の時期
事業担当課で数値目標の達成状況や事業効果を検証し、結果に至った原因を分析した。また、分析結果をこれからのまちづくり等へ活かすため、富津地区振興会に報告し、意見を求めた。	平成27年度
	公表の方法
	市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考		
								H22	H23	H24	H25	H26				
1-A-1	住宅	一般	天草市	直/間	市/個人	街なみ環境整備事業	整備方針策定、小公園・案内板等整備、修景等						23			
合計											23					
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

崎津集落は狭隘な土地に家屋同士が密集しているところの特徴で、現在の道路が出来るまで船で海から家屋へ出入りしていた。内陸へは隣接所有者が土地を提供しあって共同の道であるトウヤを形成している。道路が出来た現在でも、沿線の家屋以外はトウヤを利用する必要があり、車で自宅まで行けない等の不便な面もある。しかし、密集した家屋やトウヤは道路機能ばかりでなく住民同士が立ち話をしたりするコミュニケーションの空間になっており、このような空間を守り地域資源として活かしていくために修景補助を行い家屋の維持管理はもちろん、隣接家屋同士を守ることでトウヤの保全にもつながっている。

II 定量的指標の達成状況	指標①（電線の地中化率）	最終目標値	50 %	目標値と実績値に差が生じた要因	景観阻害要因として挙げられていた電線の地中化を指標としていたが、検討の中で次のような課題が出てきた。 ・道路幅員が3m～6mと狭く、来訪者が増加している中で、工事に伴う通行規制を敷けない。 ・土地が狭隘なため家屋が敷地いっぱい建っており、掘削工事による家屋への影響が心配されるため、直ぐには所有者の理解が得られない。 ・水道、下水道、ガス配管（老朽化）工事については、ライフラインであるため住民の理解を得て工事を実施することが可能であったが、現在の架空線や建柱方式である屋内放送、電話、電気、テレビ難視聴アンテナは、現在の施設でも直ぐ生活に支障がでないため、埋設の趣旨を理解してもらうまでに相当な時間を要する。 このような多くの課題を踏まえ、平成26年度に崎津教会を望む視点場から視認できる範囲約380mを調査した。概算事業費が5億8千万円掛かる上に、上記に挙げた課題を含めないところで様々な手続きが5年かかるという結果は出たため、現在取り組んでいる本事業での施工は困難であると判断した。
		最終実績値	0 %		
	指標②（住宅の改修率）	最終目標値	10 %	目標値と実績値に差が生じた要因	
		最終実績値	1 %		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が生じた要因	
		最終実績値			

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記入）







これまで軽自動車しか駐車できなかった駐車場の寸法を広めに改修したことで、来訪者は運転に負担が少なく訪れやすくなった。また、改修した駐車場と既存駐車場に統一したデザインの駐車場サインを整備したことで、来訪者が視認しやすくなり、これまで見られた路上駐車が減少する大きな要因になった。更に、これまでなかった身障者用駐車スペースを設けたことで身体の不自由な方や高齢者も訪れやすくなった。また、散策パンフレットと合わせて誘導サインを整備したことで、住民の生活空間への無闇な侵入やトイレの借用が減るなど、生活環境の改善の声が聞かれるようになった。更に、サインや駐車場等の整備を行った事で、せっかく来てくれる来訪者を花でもてなそうと住民自らが楽しんで花壇やプランターを設置するなど、思いがけない効果が生まれてきた。

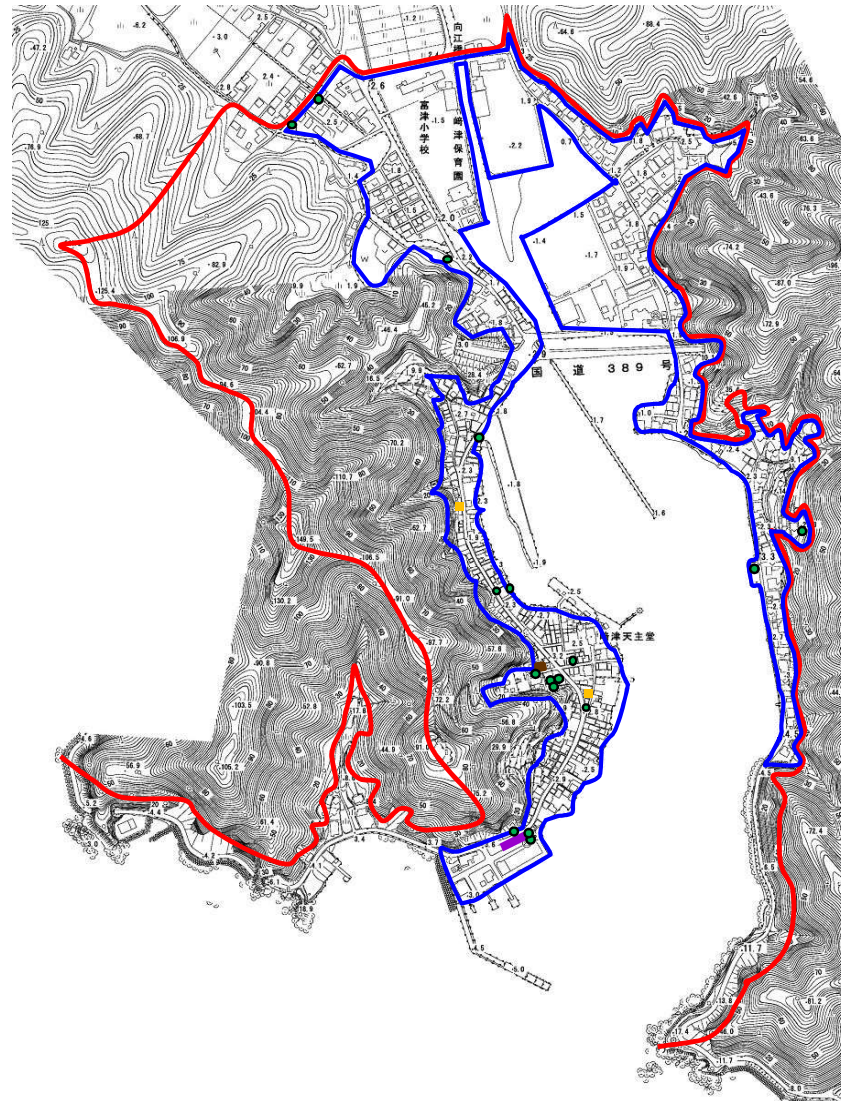
3. 特記事項（今後の方針等）

本事業を活用して策定した、崎津のランドデザインに掲げている基本理念「風景の育成」「もてなしの充実」「なりわいの向上」「共同体の強化」を目標に来訪者に対する4つの基本方針に沿ってハード面とソフト面が有機的に結びつき、住民が自ら住む地域のすばらしさを理解し活用できるように努める。

- ①誘い込む → ホームページ等により集落の事前情報提供を行い、広域サインの整備等により「行ってみたい」「行ってみよう」を促す。
- ②巡らせる → 海岸線を歩行者や自転車安全に回遊できるルートづくりとガイドを充実させ、歩いて楽しい立ち寄りスポットや巡る仕組みづくりを行う。
- ③たたずませる → 集落には食事を提供できる店も少なく、宿泊できる施設はないため、空き家を活用してこれらのサービスを提供していく。
- ④周辺地域へ繋げる → 近隣の観光スポットとの広域的な連携を図り、他の集落へも来訪者を還元していく。

計画の名称	天草市（崎津地区）における漁村景観の保存と魅力ある街なみの形成		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	熊本県天草市崎津地区

凡例	
	街なみ環境整備促進区域
	街なみ環境整備事業区域
	トイレの整備
	駐車場の改修
	案内板の整備
	住宅の修景



トイレの整備



駐車場の改修



案内板の整備



住宅の修景